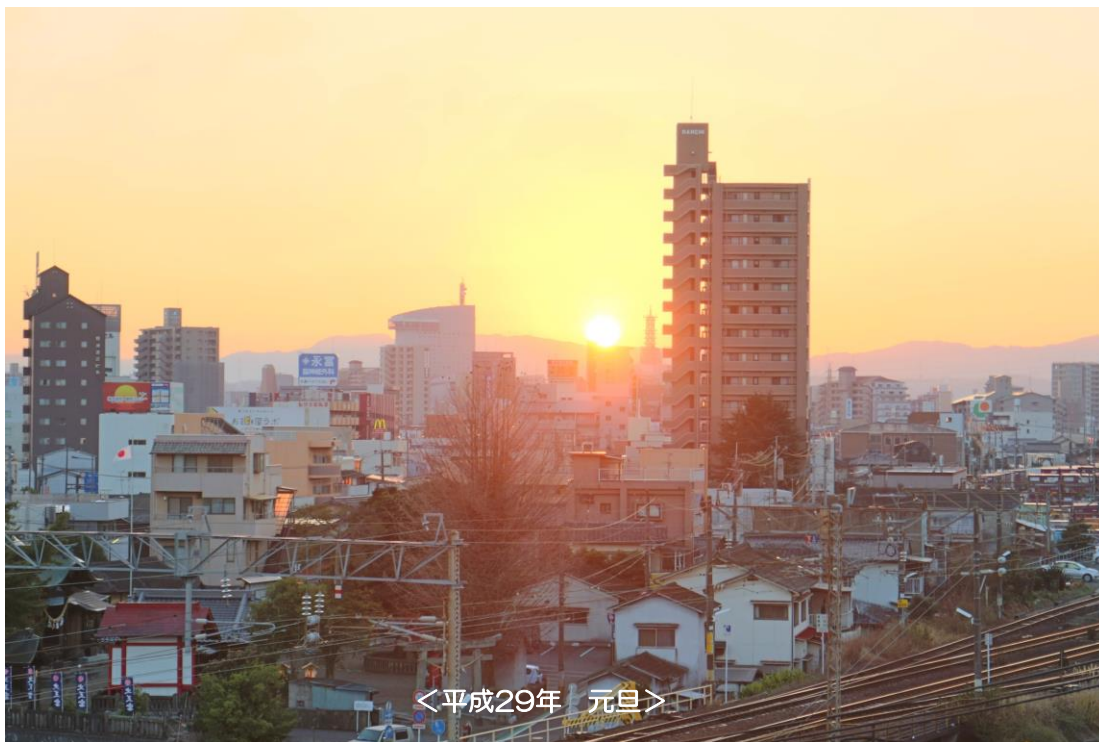




＜平成29年 元旦＞

やまぶき

創刊47号
新春号

**グローバルライフ
生石**
敬愛・実践・信頼

『新年』挨拶

皆さまには、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
おかげさまで、介護付有料老人ホーム「グローバルライフ生石」も無事に十三回目の新年を迎えることができました。

昨年は、熊本、別府の震災と復興、リオ五輪、三菱自動車の燃費データ不正問題、築地市場移転問題、夏秋の台風被害、蜷川幸雄、元横綱千代の富士九重親方、永六輔など、昭和期を代表する著名人の死去など、厳しく変化する自然現象と社会変化に対応しながらも、良き方向に進もうと国を挙げて努力する一年でありました。

皆様にとりましてこれから迎える新しい一年が、昨年の努力の上に花開き実のみのる良い年でありますようにと願っております。

ここで昨年に百歳を迎えたご入居者様、お二人の句をご紹介します。『ひなまつり その頃のうた 口ずさむ』ものはな ひなにそなえて はるをまつ『人生の大先輩方に「日本の心」を教えられたようで身が引き締まります。新年を迎え花開くことを期待したいところですが、「後に振り返ることが出来るよう、日本人であることを忘れずに何事にも全力で備えを怠らず取り組んでゆけ」と心戒められたように思います。さて、開所以来『入居者が主人公』の運営理念の下、ご家族の皆様と共に私共職員は、ご入居者の皆様お一人おひとりの自己実現へのお力添えが少しでもできればと思いいました。その姿勢は今後も変わることばありません。

このグローバルライフ生石では、介護保険法の下、居室の広さや設備、リハビリなどが整っております。その中にあつて施設運営上、心掛けねばならないのは、人が継続して提供する『ケアの質』であると考えます。この『入居者本位』の『ケアの質』は、なかなか表に現れないものです。そして、この目には見えない『ケアの質』を保ち実践しているのがグローバルライフ生石の職員一人ひとりであります。これからもこの『ケアの質』を保ち、実践し、表出させる努力を怠ることなく日々積み重ねて参る所存です。

今後とも変わらぬご指導のほどを宜しくお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。これからも、ご支援のほどよろしくお願い致します。

介護付有料老人ホーム グローバルライフ生石

施設長 平野修一

「やまぶき」は、春に咲く可憐な花です。花言葉は、「崇高」、「気品が高い」です。私達は、入居された方々のライフパターや尊厳を大切に生活をサポートしていきます。「やまぶき」を通じて皆様の活々とした暮らし、山吹色に輝く笑顔をお伝えします。



「やまぶきの花」
グローバルライフ生石にて

ご利用下さい

日用品の注文

（火・金よう日）
《重石百貨店》
身の回りの日用品を配達していただけます

訪問理美容

《ビューティフルライフ・
リンデンB》
カット・カラーなど施設内で（要予約）

コープおおい

（毎週月曜日15時頃）
1階 玄関前にて販売

パン移動販売

（毎週火曜日11:30頃）
《白いブランコ》
1階 玄関前にて販売

めがね・補聴器

（月1回）
《ヤノメガネ》
メガネや補聴器の購入から修理等

HAPPY BIRTHDAY 祝☆100歳



11月22日にK様が100歳のお誕生日を迎えられました。職員のお手伝いや声掛けに、いつも柔らかな口調で「ありがとうございます」と返して下さい、私達の方こそ感謝の気持ちでいっぱいです。施設での生活も11年を超え、写真や思い出もたくさんあります。これからも一緒にまた思い出を創っていきましょうね。K様、おめでとうございます。そしていつもありがとうございます。

《やまぶき俳壇》
鳥瓜枯れて身軽になりけり
年の暮くらき朝から道作業
奥山に鶯鳴いて春近し
昭和生れ卒寿となりし初詣
由布鶴見のぞみて清し初御空
火の粉舞う年神様のお立ちかな
美登里 如水 正美 太郎 トヨ子 球石

～編集後記～

明けましておめでとうございます。

今年のお正月は陽射しがたつぷりで暖かく迎えられたのではないのでしょうか。表紙の初日の出は、元旦に施設の窓より眺めたものです。凜とした空気の中、元旦の『旦』の字のように、稜線から段々と顔を覗かせ真ん丸で美しい初日の出を拝むことが出来、一年の初めに清々しい気持ちになりました。

昨年は震度7を二回も観測する熊本地震があり天変地異の恐ろしさを身を持って痛感しました。それと同時に、時間が経つと慣れが出て来、あの時感じた緊張感や恐怖も段々と薄れていっていることに逆に怖さも覚えました。“普通の暮らし”の有難さ、“当たり前”を感じられる心のゆとり、今年はどういう『有難い』(なかなかありそうにない)『毎日』を感じながら日々丁寧に過ごして行きたいなあと思います。

さて酉年は、“とりこむ”に繋がり、運氣や良いことを取り込んでいく縁起の良い年です。積極的に良いことを取り入れ、実りのある一年にしていきたいです。また、この紙面の中で、入居者の皆さんの日々の生活や笑顔を紹介し、読んで下さった方にも笑顔になって頂ける様にしていきたいです。

最後になりましたが、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

生活相談員 松井優美

～お知らせ～

『グローバルライフ生石』では、入居者様および入居を検討される方に『入居契約書』『重要事項説明書』等をいつでも閲覧できるよう、1Fエントランスに備え付けており、またホームページ上にも公開しております。

介護付有料老人ホーム **生石**
グローバルライフ

お問合せ **097-548-5133**

一人ひとりで
大家族

大分市大字生石37番地の7
株式会社 **サンケアシステム**

<http://www.suncaresystem.jp>



10/5 5.6.7階：団子汁作り 10月

5.6.7階のドライブは台風によりまたもや中止に！代わりに、郷土料理の団子汁を作って食べました。皆さん口も手も動く動く！懐かしくて美味しい、逸品が出来ました。たまにはいいですよ♪（ご入居者様23名参加）

4階の皆さんは、道の駅なかつで食事をし、コスモスが咲き誇る三光コスモス園へ。過ごしやす秋空の下、たくさんのコスモスに囲まれ、幸せな時間を過ごしました。（ご入居者様17名参加）

外出行事（ドライブ）

10/18 2.3F：晴海

2.3階の皆さんは、別府 晴海でランチをし、田ノ浦ビーチへ。海を見ながら豪華な食事を美味しく頂きました。ビーチではお散歩をしたりシャボン玉をの〜んびりと過ごしました。（ご入居者様14名参加）

11/9 5.6.7F：九重

5.6.7階の皆さんは、九重夢大吊橋へ。大分市内は暖かい日が続いていましたが、さすがは九重。グッと冷え込み、山々は冬に向けて準備をしていました。おかげで吊橋からは紅葉に囲まれた九酔溪もきれいに見えました。（ご入居者様14名参加）

11/15 4F：大分県立美術館

4階の皆さんは、芸術の秋ということで、大分県立美術館OPAMへ。暖かな日差しが差し込む館内で常設展示など、ゆったりと鑑賞することが出来ました。気になっていた球体にも触れることが出来て、良かったです。（ご入居者様13名参加）

11/22 1.3.4F：大分香りの博物館

2.3階の皆さんは、大分香りの博物館へ。香りについての展示物を鑑賞した後、カフェで美味しいデザート頂きました。この日は急に温度が下がり冬らしい寒さでしたが、店内は温かく、心地よく過ごせました。（ご入居者様16名参加）

12/6、13 2.34F：トキハわさだタウン 12月

2.3.4階の皆さんは、トキハわさだタウン、5.6.7階の皆さんは、トキハ本店へそれぞれ買い物に行きました。

12/7はトキハ会館で食事をさせて頂き、その後店内でお目当てのものを探しました。わさだタウンではお買い物をしたりおやつを食べたり…元気に遊ぶ小さな子どもの姿に自然と顔が綻んでいました。

今年はコープ大分さんの訪問販売が始まったお蔭で、毎週買い物ができる環境が出来、満足感に繋がっているようで嬉しいです。

（12/6ご入居者様11名、12/7ご入居者様13名、12/13ご入居者様11名参加）

今年も一年間、外出行事を無事に行うことが出来ました。今年は例年になく天候に左右されることが多く、楽しみにして下さった方には残念な思いをさせてしまうことが多々ありました。2017年もご入居の皆様楽しんで頂ける外出行事を計画していきますので宜しくお願い致します。

クリスマス

12/20、21に一足早くクリスマス会を行いました。まずは美味しい食事とノンアルコールビールやノンアルコールワインを召し上がって頂き、第2部へ。

第2部では、各部署の余興からスタートです。看護部が誰が誰だか分からないぐらいにメイクを施し、身体を張ったジンギスカンダンスで場を盛り上げ、介護部はご入居者様よりご協力頂き、二人羽織で美味しいケーキを口ではないところでも食べ、笑い誘いました。相談室からは、練習の成果がおおよそ出たハンドベルの演奏をし、最後はたどたどしい演奏に合わせて皆さんと一緒にきよしこの夜を歌いました。

恒例のビンゴゲームでは紙とにらめっこしながら読み上げられて数字に一喜一憂。豪華？景品が当たった方は喜んでいただけようです。

手作りのささやかな会ではありますが、皆さん楽しんで頂ける今年最後の行事となりました。また来年もこの笑顔を引きだしていけるように頑張っていきたいと思いました。（12/20：5.6.7階ご入居者様31名、12/21：2.3.4階ご入居者様53名参加）

相談室

介護部

看護部

年の瀬の12月28日、寒風吹き荒ぶなか、餅つき行事を行いました。感染症が流行るこの時期、今年はいつも以上にテレビや新聞でも報道され、悩みましたが、年末の風物詩として楽しみにされている方も多かったので、例年以上に感染対策・安全面を考慮し実施しました。

よいしょ、よいしょの掛け声に合わせて力自慢たちが杵で付き、年季の入った慣れた手つきで餅をこね、室内では準備万端の女性陣が杓を思い出しながら真ん丸に丸めて下さいました。「これでお正月が迎えらるね」とお言葉もあり、生活の中に根付いているのだなと改めて感じました。今年の行事も無事に終わることが出来ました。来年も皆様に幸せが訪れますように…（ご入居者様32名参加）

もちつき